



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月2日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社 上場取引所 東
コード番号 5481 URL <https://www.sanyo-steel.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 勝弘
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 柳本 豊 TEL 079-235-6008
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	268,962	△8.6	8,820	△56.8	9,077	△56.1	6,315	△57.2
2023年3月期第3四半期	294,392	9.3	20,432	41.8	20,691	42.3	14,760	45.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 16,656百万円(3.5%) 2023年3月期第3四半期 16,095百万円(34.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 115.91	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	270.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 396,952	百万円 225,701	% 56.3
2023年3月期	401,218	216,024	53.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 223,676百万円 2023年3月期 214,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 100.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	355,000	△9.9	11,400	△60.0	12,000	△58.4	8,500	△59.0	156.01	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	54,507,307株	2023年3月期	54,507,307株
2024年3月期3Q	23,281株	2023年3月期	21,557株
2024年3月期3Q	54,484,854株	2023年3月期3Q	54,487,042株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

【添付資料】

（目次）

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10
参考資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国経済は、物価上昇が続く中、新型コロナウイルス感染症の5類移行や雇用・所得環境の改善を受けて個人消費が回復するなど、緩やかな回復が続きました。各種政策の効果もあり、今後も緩やかな回復が続くことが期待されるものの、世界的な金融引締め等による海外景気の下振れの影響が懸念されます。

特殊鋼業界におきましては、半導体不足の緩和により自動車生産は緩やかに回復しているものの、跛行性があることに加えて、中国経済の減速や設備投資マインドの低下等から建設・産業機械向けにおいて需要が減少するとともに在庫調整が拡大していることなどにより、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、前年同期を下回りました。

このような中、当社グループの売上高は、エネルギーサーチャージ等の適用に伴う販売価格の上昇はありましたが、需要家の大幅な在庫調整を受けた売上数量の減少などにより、前年同期比254億29百万円減の2,689億62百万円となりました。利益面では、エネルギーサーチャージ等の適用に伴う販売価格の上昇はありましたが、売上数量の減少や販売構成の悪化、原燃料価格の上昇や諸資材等へのインフレ影響に加えて、スウェーデンの連結子会社Ovakoの売上数量の減少や2023年3月期に発生した一過性増益影響の縮小などにより、経常利益は、前年同期比116億13百万円減の90億77百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比84億45百万円減の63億15百万円となりました。

当第3四半期損益の概要(2023年4月1日～2023年12月31日)

(単位:千t、億円、円/株)

	当第3四半期	前年同期	差引増減	増減率(%)
売上数量	1,092	1,210	-119	-9.8
(内、当社単独)	629	681	-52	-7.6
(内、Ovako)	376	451	-75	-16.5
(内、SSMI)	86	78	+8	+10.2
売上高	2,690	2,944	-254	-8.6
(内、当社単独)	1,393	1,462	-69	-4.7
(内、Ovako)	1,069	1,267	-198	-15.7
(内、SSMI)	171	158	+13	+8.5
営業利益	88	204	-116	-56.8
(内、当社単独)	35	79	-45	-56.6
(内、Ovako)	67	139	-72	-51.9
(内、SSMI)	7	▲1	+8	—
(内、のれん償却費)	▲24	▲22	-2	—
経常利益	91	207	-116	-56.1
(内、当社単独)	76	95	-19	-19.6
(内、Ovako)	61	139	-78	-56.1
(内、SSMI)	5	▲4	+8	—
(内、のれん償却費)	▲24	▲22	-2	—
税後利益(注2)	63	148	-84	-57.2
1株当たり税後利益	115.91	270.91	-155.00	-57.2
のれん償却費を除く営業利益	112	226	-114	-50.3
のれん償却費を除く経常利益	115	229	-114	-49.8
のれん償却費を除く税後利益	87	169	-82	-48.5
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	160.14	310.94	-150.80	-48.5

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) 親会社株主に帰属する四半期純利益。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

鋼材事業

当第3四半期の売上高は、エネルギーサーチャージ等の適用に伴う販売価格の上昇はありましたが、需要家の大幅な在庫調整を受けた売上数量の減少などにより、前年同期比241億36百万円減の2,579億17百万円となりました。営業利益は、エネルギーサーチャージ等の適用に伴う販売価格の上昇はありましたが、売上数量の減少や販売構成の悪化、原燃料価格の上昇や諸資材等へのインフレ影響に加えて、Ovakoの売上数量の減少や一過性影響の縮小などにより、前年同期比106億89百万円減の84億77百万円となりました。

粉末事業

当第3四半期の売上高は、電子材分野向けの需要減の影響はありましたが、自動車生産の回復などにより、前年同期比96百万円増の40億31百万円となりました。営業利益は、売上数量は増加しましたが、販売構成の悪化などにより、前年同期比1億7百万円減の7億4百万円となりました。

素形材事業

当第3四半期の売上高は、鉄スクラップサーチャージ等の適用に伴う販売価格の上昇はありましたが、売上数量の減少や販売構成の悪化などにより、前年同期比12億11百万円減の137億8百万円となりました。営業損益は、売上数量の減少や販売構成の悪化、原燃料価格の上昇や諸資材等へのインフレ影響などにより、4億33百万円の赤字(前年同期は3億42百万円の黒字)となりました。

その他

子会社を通じて情報処理サービスを行っており、当第3四半期の売上高は前年同期比6百万円増の9億75百万円、営業利益は1百万円減の22百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産残高は、棚卸資産の減少や円安による海外連結子会社資産等の円換算額の増加などにより、前期末比42億66百万円減の3,969億52百万円となりました。負債残高は、仕入債務やコマース・ペーパーの減少などにより、前期末比139億42百万円減の1,712億51百万円となりました。純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や円安等に伴うその他の包括利益累計額の増加などにより、前期末比96億76百万円増の2,257億1百万円となりました。この結果、当第3四半期末におけるD/Eレシオ(純資産残高に対する有利子負債残高(現預金および関係会社預け金残高控除後)の割合)は0.27(前期末は0.31)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中国経済の減速等を背景として、建設・産業機械分野を中心に需要の減少および大幅な在庫調整が発生し、欧州経済も低迷が継続しております。その結果、当社およびOvakoの下期の売上数量の急激な減少やそれに伴う製造コストの上昇のほか、販売構成の悪化などにより、2023年10月31日に公表しました2024年3月期通期の業績予想に対して大幅な減益が見込まれます。今後、自動車生産は緩やかな回復を続け、建設・産業機械分野においても在庫調整終了による実需水準への回

復が期待されるものの、当社グループの事業環境は厳しい状況が続くと想定されます。

これらの状況をふまえ、2023年10月31日に公表しました2024年3月期通期の業績予想を次のとおり修正いたしました。

2024年3月期業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:千t、億円、円/株)

	今回予想	前回予想	増減
売上数量	1,450	1,535	-85
(内、当社単独)	817	853	-36
(内、Ovako)	517	560	-43
(内、SSMI)	115	122	-7
売上高	3,550	3,800	-250
(内、当社単独)	1,760	1,870	-110
(内、Ovako)	1,480	1,600	-120
(内、SSMI)	230	250	-20
営業利益	114	200	-86
(内、当社単独)	42	89	-47
(内、Ovako)	91	118	-27
(内、SSMI)	10	12	-2
(内、のれん償却費)	▲32	▲32	—
経常利益	120	200	-80
(内、当社単独)	85	133	-48
(内、Ovako)	85	110	-25
(内、SSMI)	7	7	—
(内、のれん償却費)	▲32	▲32	—
税後利益(注2)	85	140	-55
1株当たり税後利益	156.01	256.95	-100.94
のれん償却費を除く営業利益	146	232	-86
のれん償却費を除く経常利益	152	232	-80
のれん償却費を除く税後利益	117	172	-55
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	214.74	315.68	-100.94

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) 親会社株主に帰属する当期純利益。

また、上記業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ながら2024年3月期の配当予想を次のとおり修正いたしました。

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想(2023年10月31日公表)		65.00	100.00
今回修正予想		30.00	65.00
当期実績	35.00		
前期実績(2023年3月期)	55.00	45.00	100.00

業績予想および配当予想の修正に関しましては、本日開示の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,652	27,933
受取手形、売掛金及び契約資産	66,372	58,638
電子記録債権	11,636	14,087
商品及び製品	33,681	30,731
仕掛品	58,791	51,626
原材料及び貯蔵品	35,756	35,495
未収還付法人税等	44	445
関係会社預け金	9,953	5,078
その他	4,259	5,152
貸倒引当金	△449	△428
流動資産合計	241,698	228,759
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	68,615	71,001
その他（純額）	46,567	52,483
有形固定資産合計	115,183	123,485
無形固定資産		
のれん	32,441	32,523
その他	3,676	3,734
無形固定資産合計	36,117	36,257
投資その他の資産	8,218	8,449
固定資産合計	159,519	168,192
資産合計	401,218	396,952
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,543	33,434
短期借入金	43,732	42,523
コマーシャル・ペーパー	30,999	27,999
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	4,654	1,177
賞与引当金	2,323	1,042
環境対策引当金	3	4
その他	26,134	25,226
流動負債合計	147,391	141,408
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	11,570	11,420
役員退職慰労引当金	55	41
債務保証損失引当金	1	1
環境対策引当金	133	192
退職給付に係る負債	8,751	10,293
その他	7,290	7,892
固定負債合計	37,802	29,842
負債合計	185,194	171,251

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,800	53,800
資本剰余金	51,503	48,827
利益剰余金	101,027	102,983
自己株式	△32	△36
株主資本合計	206,298	205,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,893	1,800
繰延ヘッジ損益	△1,100	162
為替換算調整勘定	5,625	15,179
退職給付に係る調整累計額	1,656	958
その他の包括利益累計額合計	8,075	18,101
非支配株主持分	1,650	2,024
純資産合計	216,024	225,701
負債純資産合計	401,218	396,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	294,392	268,962
売上原価	245,808	231,598
売上総利益	48,584	37,364
販売費及び一般管理費	28,151	28,543
営業利益	20,432	8,820
営業外収益		
受取利息	113	552
受取配当金	149	183
為替差益	455	262
受取賃貸料	214	242
電力需給調整協力金	—	433
その他	236	471
営業外収益合計	1,169	2,146
営業外費用		
支払利息	731	1,587
その他	178	301
営業外費用合計	910	1,889
経常利益	20,691	9,077
特別利益		
投資有価証券売却益	4	426
固定資産売却益	246	30
特別利益合計	250	456
特別損失		
固定資産除売却損	283	222
関係会社整理損	28	62
特別損失合計	312	284
税金等調整前四半期純利益	20,630	9,250
法人税、住民税及び事業税	5,714	3,307
法人税等調整額	265	△492
法人税等合計	5,979	2,814
四半期純利益	14,650	6,436
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△110	120
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,760	6,315

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	14,650	6,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	209	△93
繰延ヘッジ損益	△2,970	1,262
為替換算調整勘定	897	9,748
退職給付に係る調整額	3,129	△697
持分法適用会社に対する持分相当額	178	—
その他の包括利益合計	1,444	10,220
四半期包括利益	16,095	16,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,966	16,341
非支配株主に係る四半期包括利益	128	315

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

従来、一部の連結子会社において、退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数を17年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、第1四半期連結会計期間より数理計算上の差異の費用処理年数を15年に変更しております。なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	275,396	3,935	14,919	294,251	141	294,392	—	294,392
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,657	—	0	6,657	827	7,484	△7,484	—
計	282,053	3,935	14,920	300,908	968	301,877	△7,484	294,392
セグメント利益	19,167	811	342	20,320	24	20,344	87	20,432

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない情報処理サービス事業であります。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	251,149	4,031	13,708	268,889	72	268,962	—	268,962
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,768	—	0	6,768	902	7,670	△7,670	—
計	257,917	4,031	13,708	275,658	975	276,633	△7,670	268,962
セグメント利益 又は損失(△)	8,477	704	△433	8,748	22	8,771	49	8,820

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない情報処理サービス事業であります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(子会社株式の追加取得)

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称 Sanyo Special Steel Manufacturing India Private Limited

事業の内容 特殊鋼製品の製造・販売

② 企業結合日

未定

本追加取得は、インド競争当局における競争法上の許可等が得られることを条件としており、株式取得の時期は未定であります。従いまして企業結合日も未定であります。

③ 企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

④ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑤ その他取引の概要に関する事項

2023年3月9日、当社はインドの連結子会社SSMIの少数株主である三井物産(株)から、株主間協定に基づくプットオプションを行使するとの通知を受けました。三井物産(株)と交渉・協議を重ねた結果、2024年2月2日、当社は同社が保有するSSMIの全株式(3,046,821株)を取得する株式譲渡契約を締結いたしました。

追加取得する議決権比率は15.43%であり、議決権比率の合計は100.00%となる予定です。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理する予定であります。

(3) 子会社株式を追加取得した場合に掲げる事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,325百万インドルピー
-------	----	---------------

取得原価		1,325百万インドルピー
------	--	---------------

(4) 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

① 資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

② 非支配株主との取引によって減少する資本剰余金の金額

現時点では確定しておりません。

参考資料

2024年3月期 第3四半期決算発表

1. 当第3四半期の業績と業績予想

(単位：千t、億円、%)

	当第3四半期 (実績)	前第3四半期 (実績)	増減	増減率	業績予想(※)
					通期
売上高	2,690	2,944	△254	△8.6	3,550
(内、当社単独)	1,393	1,462	△69	△4.7	1,760
(内、Ovako)	1,069	1,267	△198	△15.7	1,480
(内、SSMI)	171	158	13	8.5	230
営業利益	88	204	△116	△56.8	114
経常利益	91	207	△116	△56.1	120
(ROS)	(3.4)	(7.0)	(△3.6)		(3.4)
(内、当社単独)	76	95	△19	△19.6	85
(内、Ovako)	61	139	△78	△56.1	85
(内、SSMI)	5	△4	8	—	7
(内、のれん償却費)	△24	△22	△2	—	△32
親会社株主に帰属する 当期純利益	63	148	△84	△57.2	85
売上数量	1,092	1,210	△119	△9.8	1,450
(内、当社単独)	629	681	△52	△7.6	817
(内、Ovako)	376	451	△75	△16.5	517
(内、SSMI)	86	78	8	10.2	115
設備投資	149	85	64	75.3	165
減価償却費	103	103	0	△0.3	150

(※) 予想(1月以降)の主要前提：鉄スクラップ(姫路地区H2市況) 52.0千円/t、原油(ドバイ)80\$/BL、為替 145円/\$、155円/€

(参考) 四半期業績推移

(単位：億円、%)

	2023年3月期					2024年3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
売上高	1,041	914	990	995	3,938	999	854	837
営業利益	88	44	73	81	285	55	18	15
経常利益	93	44	70	82	289	61	17	13
(ROS)	(8.9)	(4.9)	(7.0)	(8.2)	(7.3)	(6.1)	(2.0)	(1.5)
親会社株主に帰属する 当期純利益	69	30	49	60	207	43	9	11

2. 当第3四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 販売価格・構成	49	1. 原燃料価格	39
2. 単独営業外損益	26	2. 販売数量	23
3. 変動費コストダウン	4	3. 諸資材・外注・物流費等	16
		4. 固定費	13
		5. 修繕費	7
		6. Ovako経常利益	78
		7. 連結子会社経常利益	19
計 (A)	79	計 (B)	195
		差引 (A) - (B)	△116